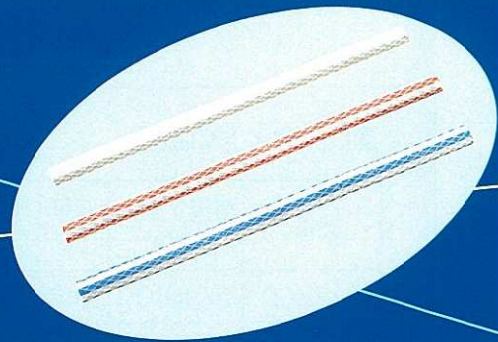


ロックボルト用定着材

C-タイト

CEMENT CAPSULE



●C-タイトとは

- ① 特殊セメントを主成分としたカプセルタイプのロックボルト用定着材です。
- ② 透水性の不織布でカプセル化してありますので水に浸漬するだけで使用できます。
- ③ 水に浸漬するだけで水比が適切にコントロールされ、長期に安定した性能を発揮します。
- ④ カプセル外周に補強材（メッシュ）が装着してありますので、取扱、装填が容易です。
- ⑤ 現場での計量混練、注入作業が不要のため、作業の簡素化が図れます。
- ⑥ 湧水型の使用により、湧水箇所での定着に適します。
- ⑦ ポアホールの設計容量に対し、必要本数を挿入する事により、充填容量の確認が出来ます。

●C-タイトの品種と特徴

施工条件に応じ3品種を取り揃えております。

(20℃)

品種	可使時間	強度発現時間
早強型 (Q)	15分	3時間で10N/mm ² 以上の圧縮強度が得られます。
標準型 (S)	40分	24時間で10N/mm ² 以上の圧縮強度が得られます。
湧水型 (W)	20分	5時間で10N/mm ² 以上の圧縮強度が得られます。湧水時の施工に適します。

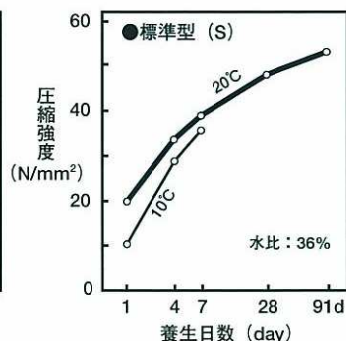
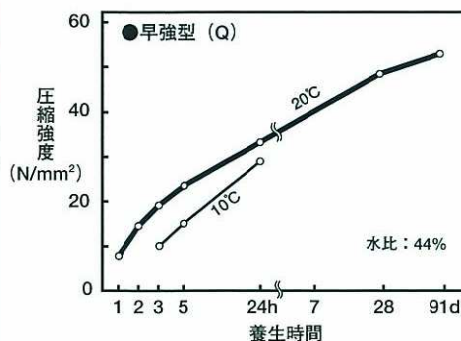
※湧水型は他品種 (Q・S) と組合せて使用可能です。

●湧水型 (W) とは

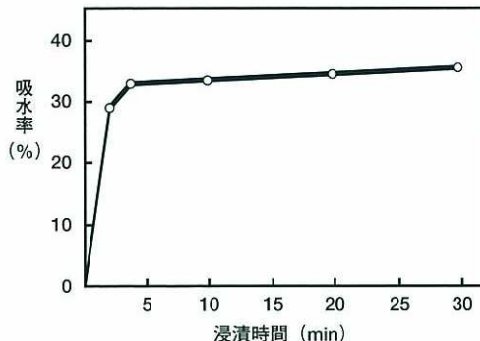
湧水型はカプセル内に特殊セメントと少量の瞬結膨張型のレジンとを別収納した二重構造になっています。瞬結膨張型レジン、水に触れると瞬時に膨張・硬化します。この瞬結性と膨張圧力によりポアホール内の湧水を遮断し、定着材の流出を防ぎ、定着を可能にしています。使用方法は通常品 (Q・S) と同様です。なお、湧水量により通常品と組合せて使用できます。

●C-タイトの性能

1. 圧縮強度



2. 浸漬時間と吸水率 (標準型)



(注) 1. 測定法/JIS R 5201に準ずる。但し、供試体形状はφ30×60 (mm)

2. 湧水型 (W) のセメント素材は超早強型に準じます。

3. 水温、岩盤温度が低下すると、強度の立ち上がりが遅くなりますので注意して下さい。

●C-タイトの品番

品番	外形×長さ (mm)	容量 (cc)	梱包入数 (本/箱)	総重量 (kg/箱)	推奨ボルト サイズ	推奨削孔径 (mm)
C-2860 [※]	28×600	340	30	13	D22	32
C-3260	32×600	450	25	15	D25	40
C-3660	36×600	570	25	18	D25	43
C-3860 [※]	38×600	630	20	17	D29	45
C-4060 [※]	40×600	700	20	19	D32	50

※C-2860・3860・4060は受注生産です。

●湧水型(W)はC-3260・3660・3860・4060のみ対応します。

●品番と品種の区別

(例)

C-3660	-S
品番	品種

ご用命の際は品番と品種をお申し付け下さい。

●C-タイトの施工手順

- ① 地山に所定(削孔径・削孔長)のボアホールをあけて下さい。(ロックボルト有効長より深すぎないようにして下さい。)
- ② C-タイトを水中に浸漬し、**4~5分間**吸水させて下さい。
- ③ 吸水したC-タイトを所定本数ボアホールに挿入して下さい。
ボアホールが推奨削孔径より大きくなった場合や、ボルトサイズが小さくなった場合にはC-タイトを1本ずつ詰め棒等で押しつぶして必要本数を挿入して下さい。
- ④ ロックボルトをピックハンマー等により打設して下さい。

注意事項：可使時間を過ぎると凝結が始まります。可使時間以内に打設を完了して下さい。

●取扱注意事項

貯蔵時

- ① C-タイトは、セメント系で吸湿によって品質が劣化します。開封後は速やかにご使用下さい。
- ② C-タイトは、高温多湿を避けできるだけ乾いた場所に保管し、6ヶ月以内にご使用下さい。

施工時

- ① C-タイトはアルカリ性です。施工時には**保護具(メガネ、マスク、ゴム手袋)**を着用して下さい。万一皮膚に付着した場合は速やかに真水で洗い流して下さい。また、必要に応じ医師の診断を受けて下さい。
- ② C-タイトの浸漬には真水を使用して下さい。海水、汚水は固着性能の低下、ロックボルトの腐食の原因になりますので、絶対に使用しないで下さい。



■販売元

KFC 株式会社 ケー・エフ・シー

東京土木営業部

〒105-0014 東京都港区芝2丁目 5-10 TEL. 03-3798-8511
 芝公園NDビル FAX. 03-3798-8516

大阪土木営業部

〒530-0047 大阪市北区西天満 3丁目 2-17 TEL. 06-6363-1884
 FAX. 06-6313-0755

名古屋支店

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3丁目 14-32 TEL. 052-223-1050
 FAX. 052-223-1059

札幌支店

〒065-0032 札幌市東区北34条東 9丁目 1-1 TEL. 011-751-4681
 FAX. 011-751-4682

■製造元

日油技研工業株式会社

第1営業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2丁目 22-1 第三高村ビル4F
 TEL. 03-3986-4521(代)

大阪支店

〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目 10-17 西天満パークビル6F
 TEL. 06-6561-5673(代)

■代理店



株式会社 **ケー・エフ・シー マスディック**

〒007-0834 札幌市東区北34条東9丁目1番地1号
 tel: 011-751-3221 fax: 011-751-3899